

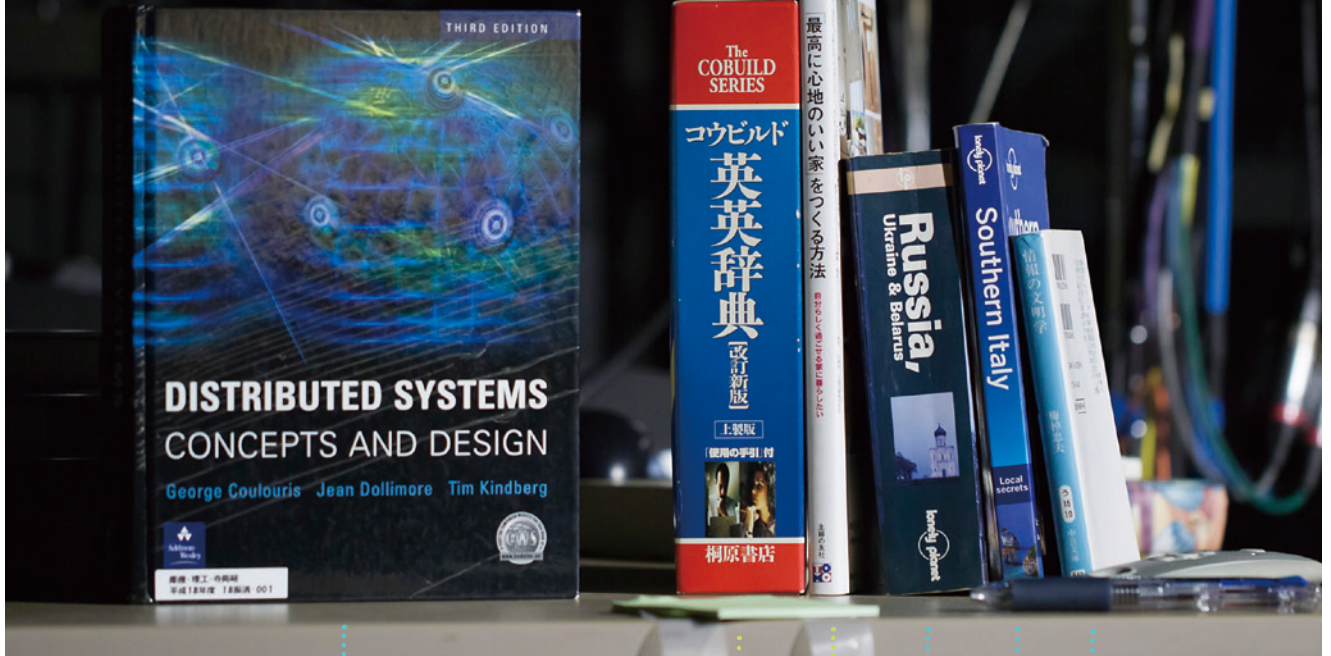
Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学工学部
Publication year	2017
Jtitle	新版 窮理図解 No.25 (2017. 8) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000025-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の 本棚

My favorite books



情報システムのバイブル

● DISTRIBUTED SYSTEMS: CONCEPTS AND DESIGN

学生時代に勉強した分散システムの本です。技術の最終形である動作や機構の説明ではなく、なぜその動作や機構が必要になるのか、といった技術の成り立ちに重きをおいています。今でも、Design や Concept が書名にあると魅力を感じるのはこの本の影響でしょう。同種の本として、Operating System Concepts (John Wiley & Sons) もおすすめしたい本です。いずれもわかりやすい平易な英語で書かれています。

英語の森をさまよう

● コウビルド英英辞典

辞書、辞典の類が好きです。情報の宝庫に対するあこがれなのかもしれません。この英英辞典は、高校生の時に買ったものです。ひとつひとつの言葉が、具体的なシーンを思い起こさせる用法・用例とともに提示されていて、言葉が立体的に浮き上がってきます。ケンブリッジ英英辞典も同時期に買いましたが、言葉の数がたいへん多く収録されています。辞典を比較するのもまた楽しいものです。

海外旅行ガイドの決定版

● Lonely Planet (Russia and Southern Italy)

海外旅行ガイドは常に Lonely Planet です。最初の一人旅が大学1年の時のロシアでした。ロシアの詳しい日本語のガイドブックはなく、たどり着いたのがこのシリーズです。文字による情報がほとんどですが、その情報の量と正確さは圧巻。何よりも食事についての情報に信頼がおけます。Southern Italy は新婚旅行の時に購入しました。いつか Lonely Planet のライターになりたいですね。

お金のかかる趣味です

● 「最高に心地のいい家」を つくる方法

建築が面白い。ITシステムと同じような設計の楽しさと苦悩があります。土地、生活、社会に時間軸を加味した分析。機能性と美しさ、柔軟性を兼ね備えた設計と施工。そして日々の生活とメンテナンス。家族の将来を夢見つつ。時間軸の考慮が一番難しいですね。

具体的に情報社会を考える

● 情報の文明学

この本を手取るたびに、常に新しい視点で情報について考えさせられます。時間が経っても色あせしません。デジタル情報技術の社会への浸透をどのようにとらえるのか、梅棹忠夫先生の思索が詰まっています。先生は国立民族学博物館にコンピュータを導入した初代館長です。

初心に返らせてくれる本

番外 神秘の島

この本が私を技術者にさせたのかもしれませんが。持ちうる科学的知識を孤島での生活に展開し、生活を豊かにする技師。永遠のあこがれです。真の知識とは、「情報を使いこなせる状態にして記憶にとどめておくこと」であると強く思います。